



下吉田えきまち研究会通信 Vol.5

目次

1. 前回研究会の振り返り
2. 今後の研究会の予定
3. お申し込み・お問い合わせ

「下吉田えきまち研究会」とは？

下吉田駅前広場を中心とした「下吉田えきまちエリア」の将来のあるべき姿の検討と、実現に向けてのアクションを実践していくための公民学連携の研究会です。月一回程度、平日の夕方に集まり、ワークショップ形式で長期的な視点からのえきまちエリアのビジョンと、短期的な視点からのアクションの検討を進めています。11月には、社会実験を実施し、その成果も踏まえながら、1年かけて提言書をまとめていく予定です。

1. 第5回研究会「社会実験の検討 - 暮らしと観光がお互いを高め合うまちの実現に向けて -」

場所： 市民会館3階 ギャラリー1・2

日時： 2024年8月7日(水) 18:00～19:30

主な内容： ・第4回研究会の振り返り

・社会実験の目的と詳細案の発表

・社会実験案に対する意見交換ワークショップ

・今後の研究会の進め方説明



社会実験の概要と詳細案

第5回となった今回は、11月に実施予定の社会実験の内容について検討を行いました。はじめに、東京大学・武蔵野大学の学生が、異なる観点からそれぞれ検討を行ったA・B・Cの3案について発表しました。

2-0 社会実験の意義

「小さな変化を積み重ね、大きな変化を実現する」

1. えきまちエリアの「ツボ」をおさえたい取り組みを、エリア全体の安全を確認する。→それぞれの場所を改善する小さなアクションを繰り返す
2. 大きな変化に向け、小さな実践を体系的に進め、エリア全体の安全を確認する。→長期ビジョン検討と短期アクションを繰り返す

2-1 社会実験の全体像

暮らしと観光が高めあふまち + 訪ぎどくなるえきまち空間

長期ビジョン検討 ↔ 短期アクション

じっくり調べて、先を見通す → 自然たちでやってみて、考える

地元の皆さんと一緒に進めていく

2-2 社会実験の全体像

案名	期間	エリア	ターゲット
A. えきまち空間再編	昼	駅前	観光客
B. 回遊性向上	昼	駅前からまちへ	観光客
C. 朝夜時間帯の活用	朝・夜	駅前	観光客

案 A：えきまち空間再編

目的
えきまちくまるとまちを歩く
→交通結節点を核とした空間再編

内容
● 駅前広場の空間再編（交通規制・滞留空間化）
● 駐車場の活用検討（駅前西側、セムス、おひめ通り）と動線検討

ターゲット
● 駐車場を起点に下吉田を通る人
● 駅を起点に下吉田を通る人
● 駅前広場でくつろぐ人
● キッチンカーで出店する人

調査項目
● 駅前広場の空間再編・駐車場の活用を行うと満足度が高まり、滞留人数は増えるのか
● 駅前広場の空間再編・駐車場の活用に安全性は高まるのか

滞留空間の創出
例：人工芝・量の段差・カウチ設置・廃材椅子設置・キッチンカー誘致

駐車場の活用検討
● 3か所の市営駐車場（宮川橋、セムス、おひめ通り）と駅前西側月極駐車場を活用した社会実験を検討
● 市営駐車場は使用可能に応じて、案内拠点や滞留空間の創出を行うことを検討
● 月極駐車場は一部を歩行者空間化し、歩行者安全性・快適性を向上させることを検討

案 B：回遊性向上

目的
来訪者と住民まちと駅
地域と地域を結ぶ
→滞在時間の拡大と魅力発信

内容
1. スタンプラリー×裏道スポット
2. スタンプラリー×謎解き
3. スタンプラリー×体験アクティビティ
4. 地域を知るツアー
5. セムス裏と同様、立体化し屋根上をパブリックスペースに

ターゲット
● 海外から：内容1・3・4
● 国内から：内容1・2
● 子どもなど（地元を詳しく知りたい人）：内容1・2・3

スタンプラリー×裏道スポット
● 参加者の個性と（宿泊者や住民）どこから来たか/滞在日数/スタンプラリー時に印象に残った観光コンテンツ
● 駅～まちなかへの人流の変化
● 駅利用者数の変化 など

参加者の行動パターン
1. 観光客をターゲットとし、駐車場に滞在するスタンプラリー
2. 観光客をターゲットとし、駐車場に滞在するスタンプラリー

案 C：朝夜時間帯の活用

目的
来訪者と住民まちと駅
今日と明日を歩く
→滞在時間の拡大と魅力発信

内容
朝市・夜市の開催
● 農作物直売所の設置
● 屋台の出店
● 夜間の環境演出
● 共通デザインのあかり

ターゲット
● 富士吉田市内に宿泊予定の人（下吉田周辺を詳しく知らない人）
● 屋台を開きたい人
● 屋台に食べにくる人

実現可能性がある設置場所と事例
● 朝市・夜市の開催
● 夜間の環境演出

朝市・夜市の開催
● 農作物直売所の設置
● 屋台の出店
● 共通デザインのあかり

夜間の環境演出
● 建物/歩道のライトアップ
● 共通デザインのあかり

社会実験案に対する意見

後半は、A・B・Cの3案についてそれぞれ賛成意見・反対意見・追加提案などを参加者の方々に考えていただき、意見交換を行いました。今回出た意見を踏まえて、今後実験案のブラッシュアップを行います。

案 A：えきまち空間再編

＜駅前広場の空間再編＞
○賛成意見
● 駅前バスがバックで入り、切り返す空間を設ける
● 乗用車駐車場を観光バス用にし、駅前流入を減らす
● 駅前降車専用にし、まちなかの駐車場を利活用することで回遊性が高まる
● 信号整備も必要
● 駅から富士山を眺望できると良い
● 歩行者ゾーンの車進入を禁止するべき
○反対意見
● タウンズカーやタクシーなどの兼ね合いが課題
● 観光バスが入りきらない場合がある
○その他追加提案など
● セムス裏駐車場を活用したい・広場東側の歩道を活用する
● 富士急の側線を活用し西側駐車場スペースを拡大する

＜駐車場の活用検討＞
(1) 富士急月極駐車場（西）
● 月極契約者用ではなく一日貸し用であれば可能では
● 歩行者空間の拡張はぜひ実施したいが、車道と歩行者空間の境が曖昧になる可能性があり、明確に分ける手法が必要か
● 下吉田倶楽部も活用可能性あり
(2) 富士急月極駐車場（東）
● 活用できる土地はあるが、観光客の動線からは外れる
(3) セムス裏公共駐車場
● 桜まつりでキッチンカーを出したが客は来なかった
● 奥まわって見えないからそこ何かやるべき
● 夏であれば、富士吉田らしい織物を活かしたタープで駐車場全体を覆うと目立ち、機能的にもよいのでは
● 屋根をかけ登れるようにして立体化する
(4) お姫坂駐車場
● 駅発着とは異なる回遊の出発点となる・案内地図は設置予定
● 大きな看板を設置するのはインパクトがある
● 周辺住宅の目隠しフェンスをメディア化する
● 富士山が見えるのでベンチを置きたい
● セムス裏と同様、立体化し屋根上をパブリックスペースに
(5) 宮川橋駐車場
● ポケットパーク部分は滞留空間として使える
● のれんがかけられるような設えになっている
● 小さな建屋なら建てられるのでは

案 B：回遊性向上

○賛成意見
(1) スタンプラリー×裏道スポット
(2) スタンプラリー×謎解き
● 目的があることで回遊性が向上し、滞在時間が増える
● インバウンド観光客でスタンプ集めをしている人は多く、観光案内所でも多くの人がスタンプを押している
(3) スタンプラリー×体験アクティビティ
● 現状の映えスポットだけを巡るツアーを減らし、地域の歴史や文化に関心を持っている層によるツアーを増やしたい
● 外国人にとって、普通の日本の生活を見れる機会はニーズがありそう
● 謎解きは地域の子どもの参加が期待できそう
(4) 地域を知るツアー
● 地域を理解できるのは観光客にとっては有難いと思う
● 昼だけでなく夜も西裏ツアーを行い、飲み歩きできるツアーを開催することで、インバウンド観光バスと連携してまちあるきツアーができるとうい
○反対意見
● ツアー客は寄り道をする時間がなく、無料の場所ばかり寄り寄っていく
● 個人の観光客を対象とした方がいい
● 現状、下吉田駅に案内が少なく、観光案内所的な機能があると望ましい
● スタンプラリーは時間的な余裕がないとできないため、参加者が限定されるため、地域住民向けに行うのも一案
● 外国人観光客の方々に理解してもらえる内容にしたり、多言語対応にするのが難しそう
○その他追加提案など
● 駅前近くにできるホテルから、西裏への誘導がスムーズにできること良い
● ビュースポットの紹介を行う
● こんな場所からこんな写真が取れる、見られるというサンプル画像を用意しておく

案 C：朝夜時間帯の活用

○賛成意見
● 朝市案の「朝うどん」は名物になりうる
○反対意見
● 駅前ではまだトイレ・ゴミに関するキャパシティが整っていない
● トイレはある程度数がないと捌ききれない
● 夜市は（飲食店がメインとなることも踏まえ）トイレ・ゴミの観点で実現可能性が低く、朝市の方が実現可能性が高い
● 駅前広場周辺は住宅も多く生活空間であるので、夜市のようなイベントは開催が難しい
● そもそも社会実験は、朝市・夜市など一過性のイベントという方向性で良いのか
○その他追加提案など
● 現状の取り組み：土曜日の午前中に下吉田駅構内でマルシェをやっている
● 出店は3-4店舗・地元の野菜や写真を売っている
● 元々は地域の方へ向けて始まったもの
● 社会実験前に現状のマルシェの調査ができたら良い
● 提案(1)：ゴミを出さないマルシェを開催する（もなかをお代わりにする・リユースカップを利用し、返却時にキャッシュバックするなど）
● 提案(2)：返却時に駅前広場にテントを張り、一時的に荷物を預かる
＜メリット＞
● コインロッカーの代替となる
● インバウンドの大きな荷物に対して特に需要がある
● 追加でゴミを有料で預かるのも良い
● 荷物を預かると同時に、地域の情報を発信する
● 駅前広場は自治体の方が月1回草刈りを行っている
● 収益は自治会の収入となり、自治会費削減につながる
● 新たな雇用を生み出せる
＜デメリット＞
● 既存のロッカーと料金のバランスを取る必要がある
● 広場占有許可は市の道路公園課に確認する必要がある
● 荷物を預かる責任が伴う
● 本来は防犯カメラや鍵のある場所が望ましい

2. 今後の研究会の予定

これまでの研究会 5～8月

- #1 下吉田えきまちエリアの課題・情報共有
- #2 観光キャパシティの検討
- #3 駅前広場周辺の交通・みちの再編
- #4 地域資源を活かしたまちの魅力の創造
- #5 社会実験の検討

最終の研究会 #8 11月上旬

- 分科会ごとの内容と進捗を共有
- 実践に向けたテーマ間の調整

本日の研究会 #6 9月11日(火) 18:00～19:30

- 3つのテーマごとに具体的な社会実験案を検討

適宜分科会の開催・各所との調整 ~11月中旬

必要に応じて分科会を開催 9月～10月

- 興味のあるテーマごとに社会実験の具体案を話し合う分科会を開催

社会実験実施 11月16-17日

次回の研究会 #7 10月8日(火) 18:00～19:30

- 分科会ごとの内容と進捗を共有
- 実践に向けたテーマ間の調整

社会実験後の研究会 12月

- 社会実験の成果と課題の報告
- 将来ビジョン提言書作成に向けて意見交換

3. お申し込み・お問い合わせ

本研究会に参加していませんか？
 ご興味のある方は右記QRをご覧ください。お電話、メールでもお気軽にお問い合わせください。
 担当：富士吉田市ふるさと創生室 ふるさと魅力推進課
 TEL：0555-22-1111 FAX：0555-22-0703 MAIL：miryoku@city.fujiyoshida.lg.jp

